

◎ 平成30年度 第2回研修会のお知らせ ◎
苫小牧バイオマス発電所及び出光興産苫小牧製油所見学会
(CPD 対象)

大自然に囲まれた北海道は、自然エネルギーの賦存量が多い特色があります。これらのエネルギーは、気象などの自然現象に左右されそのままでは安定した供給が出来ません。

そこで、水素として蓄エネし利用する事で、北海道の自然エネルギーをもっと有効に活用できるのではないか、という考えのもと我々委員会は活動しています。

苫小牧バイオマス発電所は、北海道内森林の未利用木材を発電用燃料として活用する施設であります。木質バイオマスは太陽光や風力といった再生可能エネルギーと比べ、気象条件に左右されずに供給可能なため、安定した電源創出が可能であり、燃料買取を通じて効果的な間伐の促進を行い、森林のCO₂吸収力の強化に貢献しています。

また、北海道では冬期間の暖房需要のために化石燃料に頼らずには成り立ちません。そこで出光興産製油所を訪問し、製油所の水素製造装置と水素利用の現状や、水素製造装置過から発生するCO₂処理「苫小牧におけるCCS大規模実証試験」の現状を見学します。

(CCSとはCarbon dioxide Capture and Storageの略であり、CO₂の回収、貯留を意味しています。)

2016年4月からは、3年間30万トン以上を目指して、CO₂を苫小牧港の港湾区域内の海底下約1,000mの地層へ圧入しています。

●苫小牧バイオマス発電所

営業運転開始	2018年4月28日
発電出力	6,194kW
発電方式	蒸気タービン駆動方式
稼働時間	24時間連続稼働
ボイラー型式	木質バイオマス流動層ボイラー
木質燃料使用	229t/日(水分45%)

●出光興産苫小牧製油所

操業開始	1973年
従業員数	277名(2017年4月1日現在)
敷地面積	64万坪(212万m ² :札幌ドーム38個分)
原油処理能力	150,000バレル/日(23,850kl/日)

施設見学会終了後は、恒例の意見交換会を行います。熱が冷めやらぬ内に、見学先で得た知見を膨らませ、水素社会の実現等の話題で意見交換を行いたいと考えております。

皆様、奮ってのご参加をお待ちしております。

■開催日時

平成30年08月31日（金）08：30～17：30

■当日の日程

- 08：15 札幌駅北口集合（受付は北口バス乗り場、富士バスにて）
08：30 札幌駅北口出発
札幌北 IC～苫小牧東 IC
09：45 苫小牧バイオマス発電所着
バイオマス発電所見学：2.0 時間
11：45 苫小牧バイオマス発電所発
12：00 苫小牧市内 昼食会場着（日本橋）
昼食：12：00～12：45
12：45 苫小牧市内 昼食会場発
13：00 出光興産苫小牧製油所着
CSS（二酸化炭素回収・貯留施設）見学：1.5 時間
苫小牧製油所水素関連施設見学：1.5 時間
16：00 出光興産苫小牧製油所発
苫小牧東 IC～札幌北 IC
17：30 札幌駅北口着・解散 18：00 より意見交換会

■会費

施設見学会（会員：1,500 円／人、会友・非会員：2,000 円／人）
意見交換会 3,500 円／人（札幌駅北口周辺）

■申込み期日

平成30年08月22日(水)

■申込み先

下記の申込み内容をメール又は FAX にてお申込み下さい。

リージョナルステート研究委員会 水素・循環システム研究分科会
岩本達也（池田煖房工業(株)）宛て

E-mail：t_iwamoto@ikedan.co.jp

TEL：011-726-1145、FAX：011-726-1158

■申込み内容

氏 名：

所 属：

連絡先：

会員区分：①日本技術士会会員、②北海道本部会友、③非会員

参加区分：A.見学会のみへ参加、B.見学会・意見交換会の両方へ参加

以下は、損害保険加入の為の必要事項です。 ※必ずお知らせ願います。

自宅住所：

自宅電話番号：

生年月日：